

鬼に金棒！ 丸暗記術

螢雪ゼミナール静里校 佐野敏久

【社会・アジア州②】

8月も後半になってきました。宿題や定期テストなど学校の準備は、出来ていますか？（笑）。これを読んでくれている中学生の君たちならば大丈夫ですよね（笑）。

前回に続き、アジア州②です。中3生、中2生は、中1でやった復習の単元です。思い出しながら、しっかり暗記していきましょう。

今回のアジア州は、西・中央アジア、東アジア、南アジア全般。それぞれ特徴があります。

西アジア・中央アジアの多くは、イスラム教。経典の「コーラン」は、イスラム教の開祖ムハンマドがイスラム教の神アッラ一から受けた教えがまとめられています。また聖地メッカにむかって1日5回祈ったり、寺院であるモスクに集まったりして、祈りをささげています。

（子供を見て、叱っているイメージを…）

「アッレ ムハ モー コラ メッ」。苦しかったですか（笑）。イメージですよ。

西・中央アジアは、ペルシャ湾岸を中心として石油の産出量が多く大半が輸出され、西アジアの国々は石油輸出国機構(OPEC)などを通じて結び付いています。

このOPEC加盟国が、「戦愛（いくさあい）」。戦争はしない…愛してね…（笑）。イラン、クウェート、サウジアラビア、ア



担当教科 英語・社会・国語
モットーは「一期一会」。一生に一度しかない出会い。この紙面で出会ったのも何かの縁ですね。

ラブ首長国連邦、イラク。この地域の主要な国ですね。

ちなみに世界の石油輸出額国別ランキング（2020年）を見ると、1. サウジアラビア、2. ロシア、3. アラブ首長国連邦、4. アメリカですが、この四つの国は、「油を朝、米と口に…」。石油（を）アラブ首長国連邦、サウジアラビア、米国（アメリカ）（と）ロシア（に）で、順位に関係なくまとめて暗記しましょう。

現在では、アラブ首長国連邦やサウジアラビアでは、鉱産資源に限りがあるため、再生可能エネルギーや人工知能などの先端技術を活用して持続可能な都市づくりを目指しています。

東アジアでは、中国が人口約14億人で、南アジアではインドが人口13億人をこえています。インドは中国を抜いて人口世界一になると予測されています。ただ中国も急速な人口増加をおさえるために、一人っ子政策が行われてきましたが、2015年に廃止されましたので、人口は、今後中国とインドがどうなっていくのかは、注目していきましょう。

現在の人口の多い国ときたら、「人に注意！雨だからインドア（室内）でブラブラ」。人口（に）1. 中国 2. インド 3. アメリカ 4. インドネシア 5. ブラジル、ですね。覚えましたか。

イスラム教のキーワード「アッレ ムハ モー コラ メッ」

苦しくても（笑）まずはイメージから！

学びを楽しく。地域版で連載している「岐阜新聞真学塾」をバーアップさせたコーナーです。